

開催報告

トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第4回 天王川利活用ワーキンググループ



開催日：2015年11月30日(月)18:00～20:15

場所：トキ交流会館 2階会議室

参加者：WGメンバー14名、傍聴6名

新潟大学の満尾准教授をお招きし、「生物多様性」についてのご講演をいただきました！

今回は、新潟大学朱鷺・自然再生学研究センターの満尾世志人准教授をお招きし、「生物多様性」についてのご講演をいただいた後に、ワーキンググループメンバーとの意見交換を行いました。

講演会では、「生物多様性の成り立ち」や「淡水生態系の保全・復元」などについて事例を含めたご説明をいただき、自然再生に関する知識を深めることができました。

意見交換会では、「ため池の手入れがされなくなると生物が少なくなるメカニズムは？」、「自然再生事業で天王川周辺にどのような変化が期待されるか？」、「河道を山に近づけて日陰をつくりホタルの生息環境に配慮した計画とすることはできないか？」などの活発な質問が出されました。



満尾世志人准教授



意見交換の様子

事務局より「魚類及び底生動物の調査」、「水質調査」の結果を報告しました

- ・自然再生事業による天王川への影響を調べるため、これまで「魚類及び底生動物」や「川の水質」の調査を実施してきました。今回の講演会に先立ち、その調査結果を事務局から報告しました。
- ・今年度の魚類及び底生動物の調査では、「ドジョウ」や「ウキゴリ」など10種の魚類と「ゲンジボタル」や「タイコウチ」など71種の底生動物が確認されました。また、過去に河道の再自然化を行った箇所では「ドジョウ」の数が増えるなどの効果が現れています。
- ・今後も、調査結果を検証しながら、段階的に自然再生事業を進める予定です。



調査で確認されたドジョウ

意見交換会での主なご意見

【生物多様性・自然再生事業について】

- ため池の手入れがされなくなると生物が減少するというのは、どういうメカニズムか？
⇒ 利用されなくなったため池は、草刈り等の手入れが行われなくなるため、枯れ草が底にたまり浅くなり、生物が生息する空間が減少する。また、水面がハスなどの植物で完全に覆われてしまうと、水中の酸素が乏しい状況になり魚が死んでしまうこともある。
- 自然再生事業を行うことにより天王川周辺にどのような影響を与えるか？
⇒ 天王川で自然再生事業を行うと、魚の数は増えるが、もともと佐渡島内の淡水魚類相は非常に貧弱であることから魚の種類は1～2種類増える程度ではないか。
- 過去に河道の再自然化を行った区間では、すでに生物が増加するなどの効果がみられているが、今回の自然再生事業ではこの区間もあらためて手を加えるのか？
⇒ すでに効果は出ているが、あらためてコンクリートの護岸を取り壊して川を蛇行させるなどの自然再生事業により、これまで以上に効果が出るものと考えている。
- 天王川は水量が少ないため、川幅を広げることにより水深が浅くなり、湿地が干上がったたり、水温の上昇などが懸念されるが、その対策は？
⇒ 現地は地下水位が高いため、地盤の掘り下げによる地下水の供給を期待している。また、コンクリート護岸を土や石に変えることにより水温上昇をある程度防げるのではと考えている。植樹により木陰をつくることも検討している。
- 湿地は維持管理が大変であるため、田んぼをつくった方が良いのでは？
⇒ 湿地よりも田んぼが良いという意見があれば言っていただきたいが、現状が休耕田である中で、田んぼを耕作してくださる人を探すのが難しいのではないかと考える。
- ホタルの生息環境のためには、山と木により日陰が重要であると聞いた。天王川を山側に近づけて、日陰をつくりホタルに配慮した計画とすることはできないか？
⇒ 西側の山裾近くに川を持ってくれば西日を防げると思う。湿地や池の配置などを含めて検討して修正案を提示させていただきたい。

【次回のWGについて】

- 次回（第5回）のWGでは、ホタルに配慮した計画案を提示し意見交換をさせていただきたい。日程は後日お知らせする。

天王川利活用ワーキンググループの構成メンバー

- ◆ 地元集落：潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆ 関係団体：佐渡生きもの語り研究所、トキどき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生椿の自然を守る会
- ◆ 学校関係：伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆ 行政機関：環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇ 事務局：佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当 計画調整課 水倉、藤澤
TEL：0259-74-4040 FAX：0259-74-2048 Email：fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp